



聴講生：演習環境への移動

本トレーニングコースの注意事項

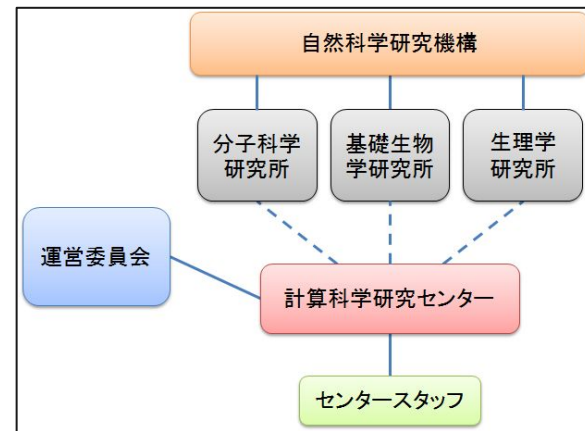
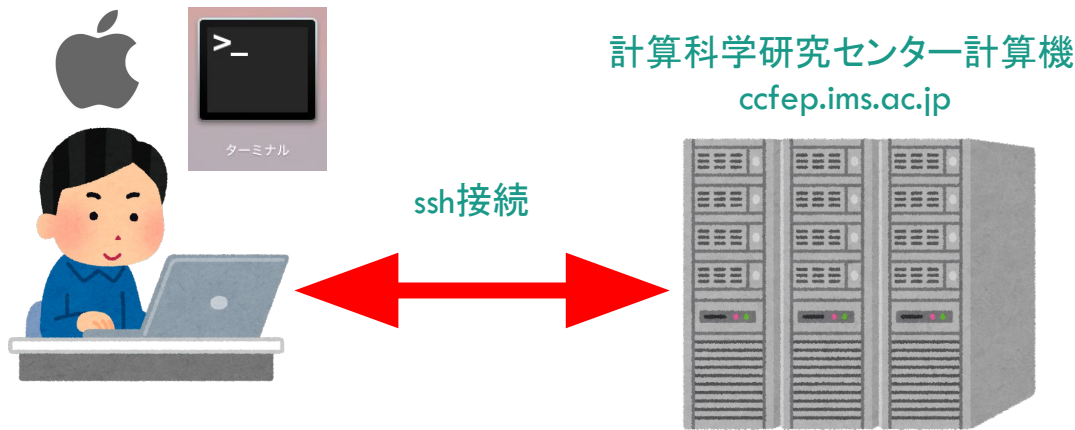
- 使用する講義資料、サンプルデータおよび配信の著作権は基礎生物學研究所に帰属します。引用等のお問い合わせは重信教授まで (shige@nibb.ac.jp: @は半角に)
- 使用する講義資料、サンプルデータおよび配信は個人的な使用範囲内でお使いいただけますが、営利目的での使用、複製、加工、転載、販売、再配布は一切禁止致します。
- ダウンロードした講義資料、サンプルデータおよび配信に関連して参加者に直接的または間接的に発生する一切の損害(ハードウェア、ソフトウェアの破損、不具合等を含む。また、通常損害、特別損害、結果損害を問わない)および第三者からなされる請求について、基礎生物學研究所はその責任を一切負いません。

本トレーニングコースの注意事項

- 今後のトレーニングコース開催の資料として録画させていただきます。
録画した講義動画については公開は行いません。
- (聴講参加の方へ)
本トレーニングコースはご都合に合わせて入退室して問題ありません。
- 本トレーニングコースでは、参加者が2つに大別されます。
受講生: 会場にいる方
聴講生: Zoomウェビナーで参加されている方
300名超の方が参加されているので聴講生の方の質問対応は行えません。
- 極力演習環境に差をなくすよう努力していますが、
万一パスが異なる場合は適宜読み替えてください。

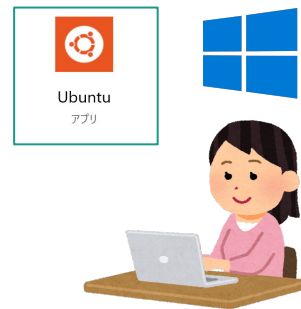
今回の講義に関して(受講生)

- 講義で行う内容はみなさまの端末上でもターミナル(WSL2)を介して行うことが可能です。
- 今回は統一された環境でみなさまに演習を行っていただくため
計算科学研究センター(RCCS)が管理するサーバ"ccfep.ims.ac.jp"(以下ccfep) 上で行います。
RCCS: Research Center for Computational Science



今回の講義に関して (聴講生)

- 講義で行う内容はみなさまの端末上でもターミナル(WSL2)を介して行うことが可能です。
- 今回は聴講生の皆様がお持ちのPC上で演習を行なっていただきます。
- 受講生が当日に使用するccfepについてはログインできません。



受講生：演習環境 "ccfep" への接続

接続方法は
会場でお伝えします。

聴講生：演習用ファイルへの移動

ターミナル(WSL)から
デスクトップ上のgitcフォルダに
cd コマンドを用いて移動してください
講義はgitcフォルダを起点に行います
以下、手順を簡単にまとめました

演習環境への移動

<https://www.nibb.ac.jp/gitc/dataset/gitc202502.html>

サンプルデータをダウンロードしていただき、

gitc フォルダをデスクトップにおいてください。
(wikiからページ移動できます。)



基礎生物学研究所 ゲノムインフォマティクス・トレーニングコース2025 春 NGS
解析入門

「NGS解析入門: UNIX・R・NGSの基本」
講習会用サンプルデータ ダウンロードページ

1. NGS解析入門: UNIX・R・NGSの基本 -- 2025年2月4日(火)~5日(水)

上記日付に行われました、NGS解析入門の講義で使用したデータです。
容量が大きいのご注意ください。
ファイルを解凍後、readme_dl.txt をご覧ください。

nibb_gitc_unix_20250204.zip [ダウンロード]



基礎生物学研究所 ゲノムインフォマティクス・トレーニングコース2025 春
RNA-seq入門

「RNA-seq入門: RNA-seq解析パイプライン」
講習会用サンプルデータ ダウンロードページ

2. RNA-seq入門: RNA-seq解析パイプライン -- 2025年3月5日(水)~6日(木)

上記日付に行われました、RNA-seq入門の講義で使用したデータです。
容量が大きいのご注意ください。
ファイルを解凍後、readme_dl.txt をご覧ください。

nibb_gitc_rnaseq_20250305.zip [ダウンロード]

(うまくダウンロードできない場合、右クリック後に「リンク先を保存...」などを選んでファイル
を保存して下さい。)

講義開始前にやっていただきたいこと

[UNIX 環境の構築に関する資料]で準備していただいたUNIX 環境(Mac: ターミナル, Win: WSL)を使って、

UNIX環境上で サンプルデータの[gitc]フォルダに"cd"コマンドで移動する操作を行なっていただきます。

講義開始前にも時間をとりますが、操作を確認してください。

操作の意味がわからなくなった場合は

- ・ [UNIX 環境の構築に関する資料]のターミナル, WSLの導入
- ・ UNIXに関する宿題に掲載されているPDF資料及び "cd, ls"の意味の確認

ターミナルを開く



"ターミナル" アイコンをクリックしてください。

右のような画面が出ればOKです。
(白地に黒文字 or 黒地に白文字)

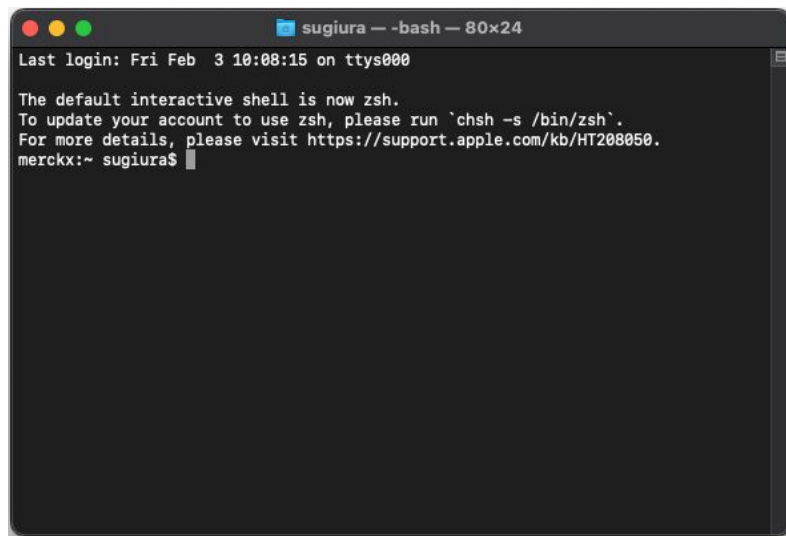
ターミナル上で

cd Desktop/gitc

と入力するか、

cd スペースキー

と入力した後、gitc フォルダをドラッグアンドドロップしてエンターを押して下さい



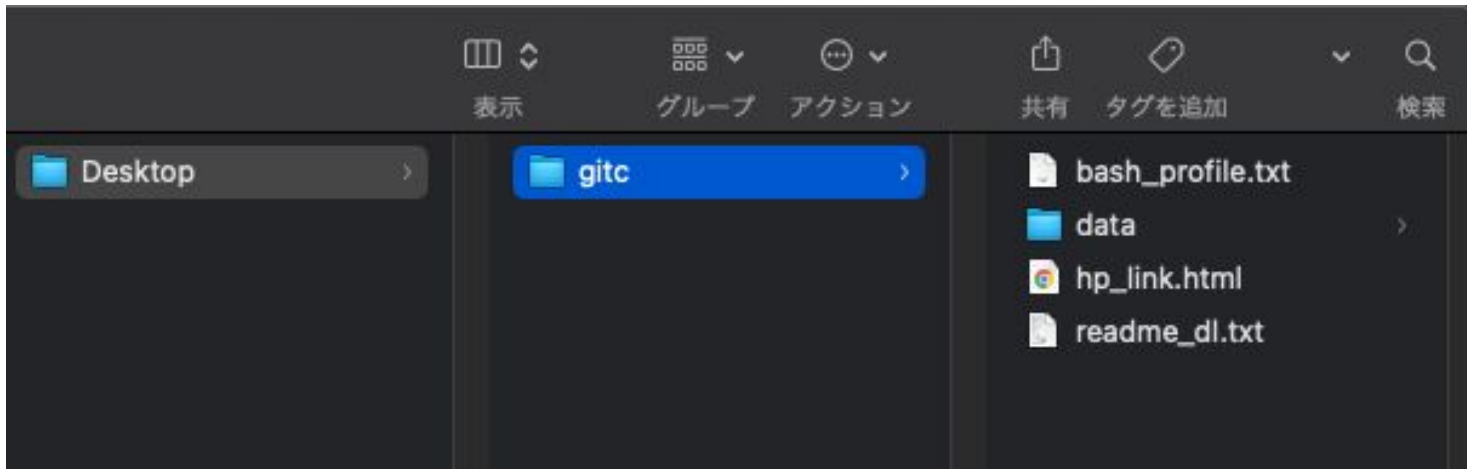
ターミナルを開く



ターミナルで `cd` コマンドを使って移動した今の状況は

ターミナルというアプリケーションで
Desktop においてある `gitc` フォルダを開いている

という状態です。



ターミナルを開く

WIKIの
[Windows UNIX環境構築ガイド]を参考に
Windows Terminal(Ubuntu)を起動してください。



Windows Terminal
アプリ



Ubuntu
アプリ

特にWindowsの方は
コマンドプロンプト
Windows Powershell



Windows PowerShell
アプリ

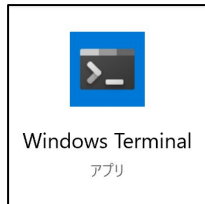


コマンド プロンプト
アプリ

を間違えて起動しないように注意してください。



ターミナルを開く



"Windows Terminal" 上で "Ubuntu" を立ち上げてください。

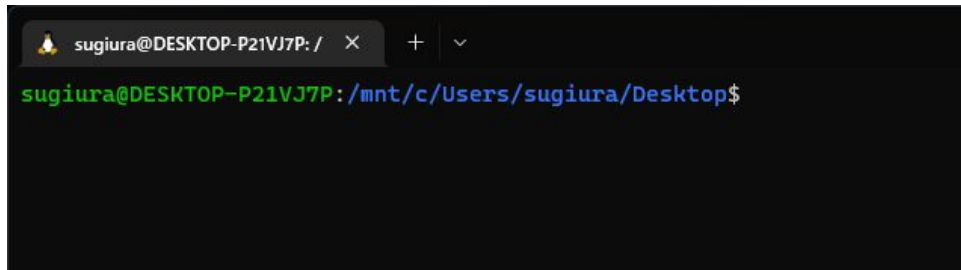
右のような画面が出ればOKです。

(環境設定が完了している前提下で)

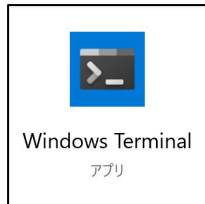
Ubuntu上で

`cd スペースキー gitc`

と入力した後、エンターを押して下さい。



ターミナルを開く



環境設定が終わっていない人 (デフォルトのフォルダがデスクトップにない人)

Ubuntu上で

cd スペースキー /mnt/c/Users/(ユーザーネーム)/Desktop/gitc

と入力した後、エンターを押して下さい。

ユーザーネームがわからない場合

cd スペースキー /mnt/c/Users

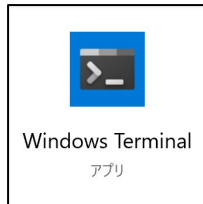
```
sugiura@DESKTOP-P21VJ7P: /  × + v
sugiura@DESKTOP-P21VJ7P:~$ cd /mnt/c/Users/
sugiura@DESKTOP-P21VJ7P:/mnt/c/Users$ ls
'All Users'  Default  'Default User'  Public  desktop.ini  nakamura  sugiura
sugiura@DESKTOP-P21VJ7P:/mnt/c/Users$
```

と入力した後、ls(エルエス)と入力するとユーザーネームが確認できます。

(上記写真の場合は nakamura)

確認後、cd スペースキー (ユーザーネーム)/Desktop/gitc と打つと移動できます。

ターミナルを開く



cd コマンドを使って移動した今の状況は
ターミナルというアプリケーションで
Desktop においてある gitc フォルダを開いている
という状態です。

